

大隈 龍 野 彦 殿

置ミテ、右ノ内ニ拾内ハ後装砲ヲト云フ又徒ハ一舉
ミテ西軍ノ現ニ據守スル所ノ防禦線ヲ破リヨリシ城ニ

親展

海軍公用文箱

114
A 833
5



414
A 833
5



秘函
秘函

馬尼刺及香港汕頭遺第十回報告

前回報告ニ於テ互徒ノ其本營ヲアラカシニ移シタルノ説ヲ
記セシガ右ハ誤聞ニシテ彼ハ政廳即チ文官ノ部分ヲカ
ビテニ置キ殺將ヲギナルドノ本營ヲハゴール(ヨカビテト)ニ
移シタルナリト云フ而シテ昨十七日頃ヨリ三方面(カロカン)ガレクナ
及フヨリ)ノ総攻撃ヲ為シ尚ホサレタト云ラレテ中間ヨリ
精兵(西軍ニ在テ兵隊)ヲ以テ突撃スルノ計畫ナリト云フ
目下互徒ノ有スル銃器ハ約壹万挺其大部分ハ各地ニ
於テ降参ミシタル西兵ノ携帶セルモノニシテノ彈藥モ多ク
附屬シアリト云フ大砲ハ五六十門アリテ各方面ニ配
置シテ右ノ内三拾門ハ後裝砲ナリト云フ互徒ハ一舉
ニテ西軍ノ現ニ據守スル所ノ防禦線ヲ破リヨシラシ城ニ

大坂府知事



出陣公限六日

13/11/1900

迎ルヘシト云居レリト云フ

反徒ハ米國ニ依頼シテ獨立スルヲ欲セス獨力獨行セシコトヲ希望シ之カ為メ歐洲各國及日本へ使節ヲ出シセリト云居ル由

アギナルドカ本營ヲ軋シタルカ如キモ米軍トノ交渉ヲ好マサルニ因ルナラント云フ

反徒ハ米軍ト混同スルコトヲ嫌ヒ米軍向テ米軍ノ占領スル地ヲ據ラセコトヲ希望セルニ依リ先ツ米軍ハカビテ造船廠内ニ此在スルナリト云フ

西軍ニシテ捕虜ト為リ反徒ノ手ニ在ルモノ約三千四百人アリ各村落ニ三百人位ツク分置シ市街掃除其他人員夫等ニ使役セラレツアルモノアリ忽チニシテ主従位置ヲ顛倒シタルノ現状ハ見ルモノヲシテ奇異ノ思ヲ為サシム

云フ

前報報告ニ於テ七月八日多クノ人員ヲ載セタル反徒ノ氣船及舟船ノ灣ノ地方ニ行クヲ認メタリト記セシガ之ハ西人(捕虜)一千人ヲテラカン地方ニ転送シタルアリト云フ

カビテ地方ニ於テ捕虜ニ要スル糧食ノ百々米五石、牛八頭ナリト云フ而シテ捕虜ノ男子ハ猥リニ外出ヲ許サスト

虽モ婦女子ノ寺院ニ詣ルコトハ許シツ、アリト云フ一昨年ノ反乱ニ於テ反徒政府ノ内務大臣タリシ某(潘漢)ニモハフギナルドノ願使スル所トナリ厭ヒ反對ノ意見ヲ有スルニ依リカビテハ欺誘ノ末収禁セラレタリト云フ

前報告ニ於テ反徒内部ニ紛紜ヲ生シタル一報ヲ記セシガ是等ノ事ヲ意味シタルナルベク又反徒ノ外務ヲ擔當スル某ノ如ク米國ノ軍隊到着ノ後ヲシラハ反徒ノ手ヲ藉テズ

ミテ臨議スルアラバ何カ方法ヲ以テ米國ト交渉スヘキ
ヤ等ノ事ニ付考慮中ニシテ今日ノ場合獨立獨行ノ難
キヲ知り大ニ苦心シ居リト云フ要スルニ難問題ノ起
コトニ首領株ノ意見見合ナルコトアリ之ヲ統御スル程ノ
人物モナキ為メ時ニ紛擾ヲ醸スル所ナラハ
以上ハ西ニ前反將ノギナルド及其他主立タル反徒ニ
面會シタリト云フモノニ就テ聞及タル處ヲ取捨摘録ス
所ニ係ル

又本艦ヨリ日數手ニタル西三日未ノ戦況等ハ左ノ如シ
十四日午後二時九分獨艦ヲオーガスタ、ウイルヘルム、コルモラン、ノニ
隻入港、ウイルヘルムハ一隻又ノコライタ、ブルモラシハ二隻又ノコラ
イタ、イタ、イタキテ入港、其ライター甲ミハ貨物ヲ搭載セルモ
ノ、如シ但シコライベルスニ於テ運送船ヨリ移シタルモノラン

七月十五日午前一時叛徒旗ヲ掲ゲクル小蒸凜船一隻端艦
ヲ曳キカビテヨリ北方ニ航ス

八時三十五分「キャオ」拔錨「カビラ」灣内ヲ巡航ス

八時四十分「ゴラテ」砲多砲撃ヲ始メ時余ニシテ止ム

午後三時「ゴラテ」砲台ヨリ頻リニ砲撃ヲナシ引續キ烈
シキ銃声起リ暫時ニシテ止ム

七月十六日午前一時「ゴラテ」方面ニ時々銃声ヲ聞ク

一時三十分「ゴラテ」市中ニ火災起ル

二時十五分右方火災鎮火

五時二十二分「ゴラテ」砲台頻リニ発砲ニ暫時ニシテ止ム

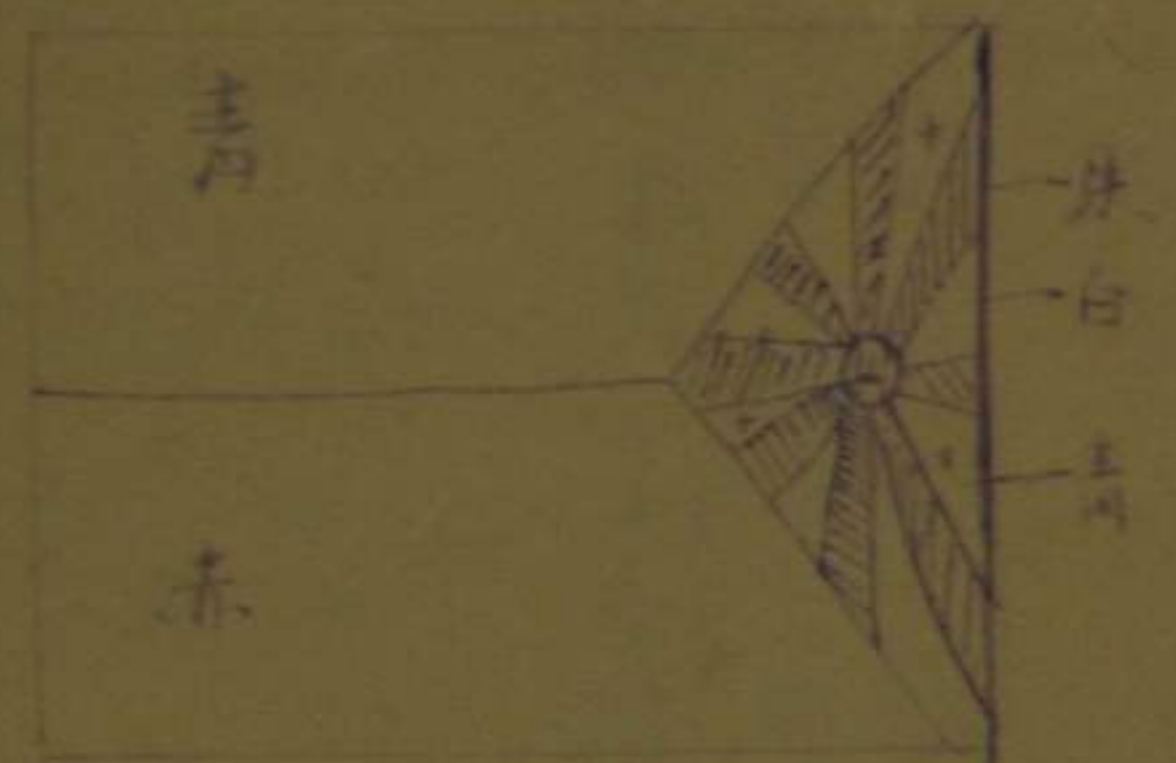
午後一時頃ヨリ二時十五分迄ノ間「ゴラテ」方面及「ゴラテ」

内地方面ニ銃砲ノ烈シキ射撃ヲナスヲ見ル

二時五十分頃ヨリ「ゴラテ」方面ニアリシ「ゴラテ」小蒸凜

船一隻ヲ曳キテゴミラ市ノ海岸ヨリ引ビカビテニ入ル
 米國運兵船一隻カビテニ到着シヤイナ号ナラシ
 七月十七日午前二時比ヨリ四時ニ到ル間陸上ニ絶ズ銃
 声ヲ聞ク
 四野野水池方面ニヨリ銃声ヲ聞ク
 六時三十分トシド方面砲撃ヲ始ム
 七時ヨラテテ方面砲撃ヲ始ム
 右西方面ノ砲撃最烈ニキニ達シ三十分許ニシテ止ム
 米艦ボストン運兵船三隻ヲ牽シカビテニ入港ス(運
 兵船ハゴロンコヨハヨ一及ズイラシデヤシナラシ)
 在ゴミラ小林三井物産會社員ノ談ニヨルニ米艦隊英
 國ニ於テ六隻ノ帆立船ニ方有余噸ノ英炭運搬ノ
 契約ヲシ居リテ此ニ到着スルナリ

右艦船ハ小樽関ヲ有シ無阻及出入港ノ用ニ供スルモノニシテ
 初ナハゴロンコヨハヨ一ニ於テ當米艦隊ノ命ヲ待ツルナリシモ
 今日ハ既ニ其用ナキヲ以テ直ケシカビテニ入港ノ由ナリ
 又濠洲ニ於テモ南戦前石炭及糧食ヲ購シタルニ入港スヘ
 シト



「ガビニヨリ歸来スル者ノ於ニ依ルハ當時ノ致
 是旗ハ國ノ如シト云フ」

右報告候也

明治三十一年七月十七日

馬尼刺三札テ

秋津洲艦長齋藤 守貞

海軍大臣侯爵西御從道殿

近テ独艘ヨルモラシキ去十五日香港ニ向ケ土港ニ歸ル

明十日早朝米國艦隊司令長官より香港ニ便紙

ヲ發スル者通知アリシテ以テ本報告ヲ之ニ托ス